

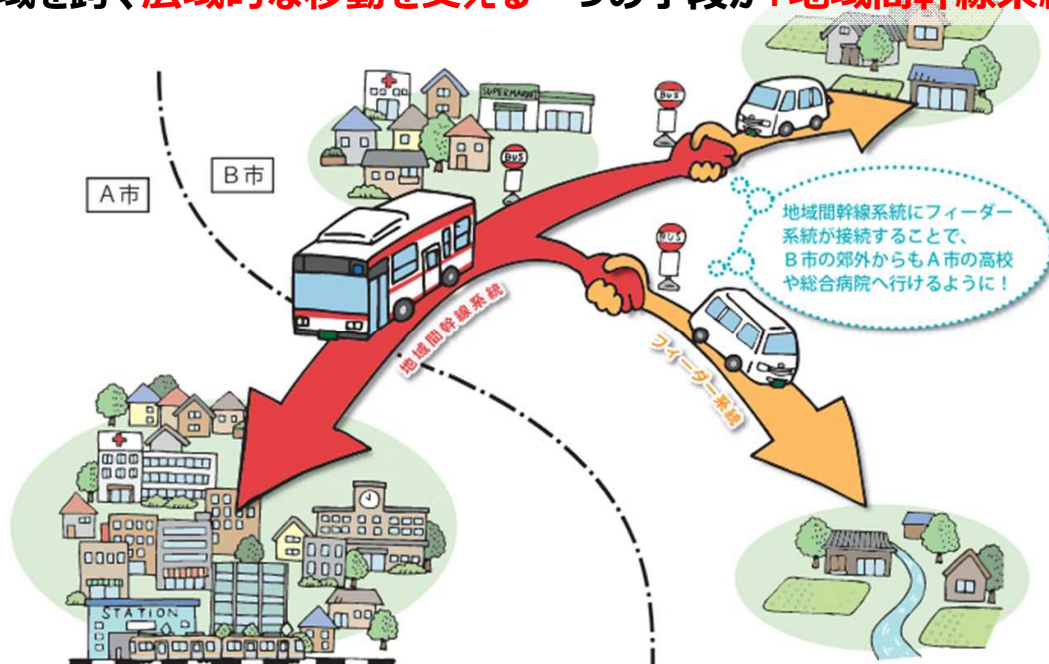
令和4年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

富国有徳の理想郷－しずおか
ふじのくに

地域間幹線系統とは

日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、
結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。

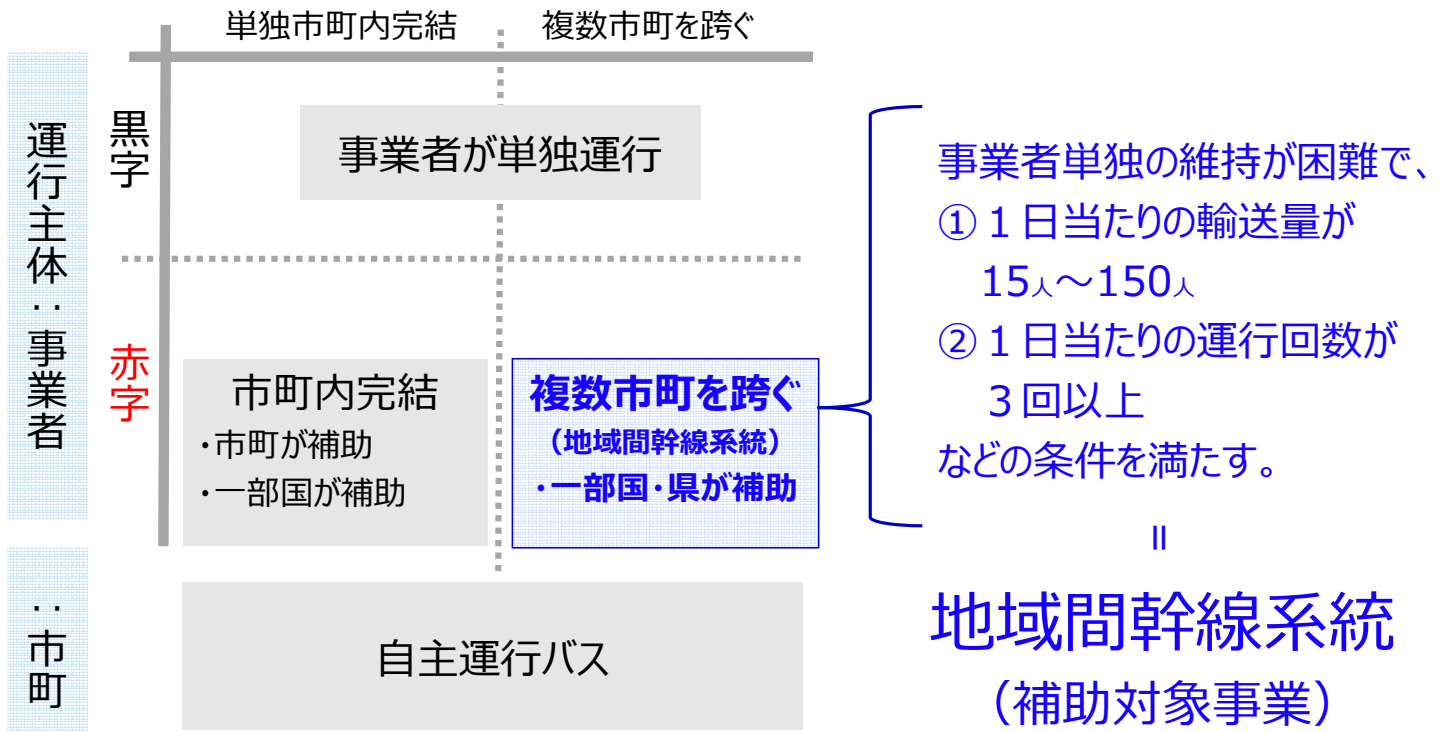


出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

富国有徳の理想郷－しずおか
ふじのくに

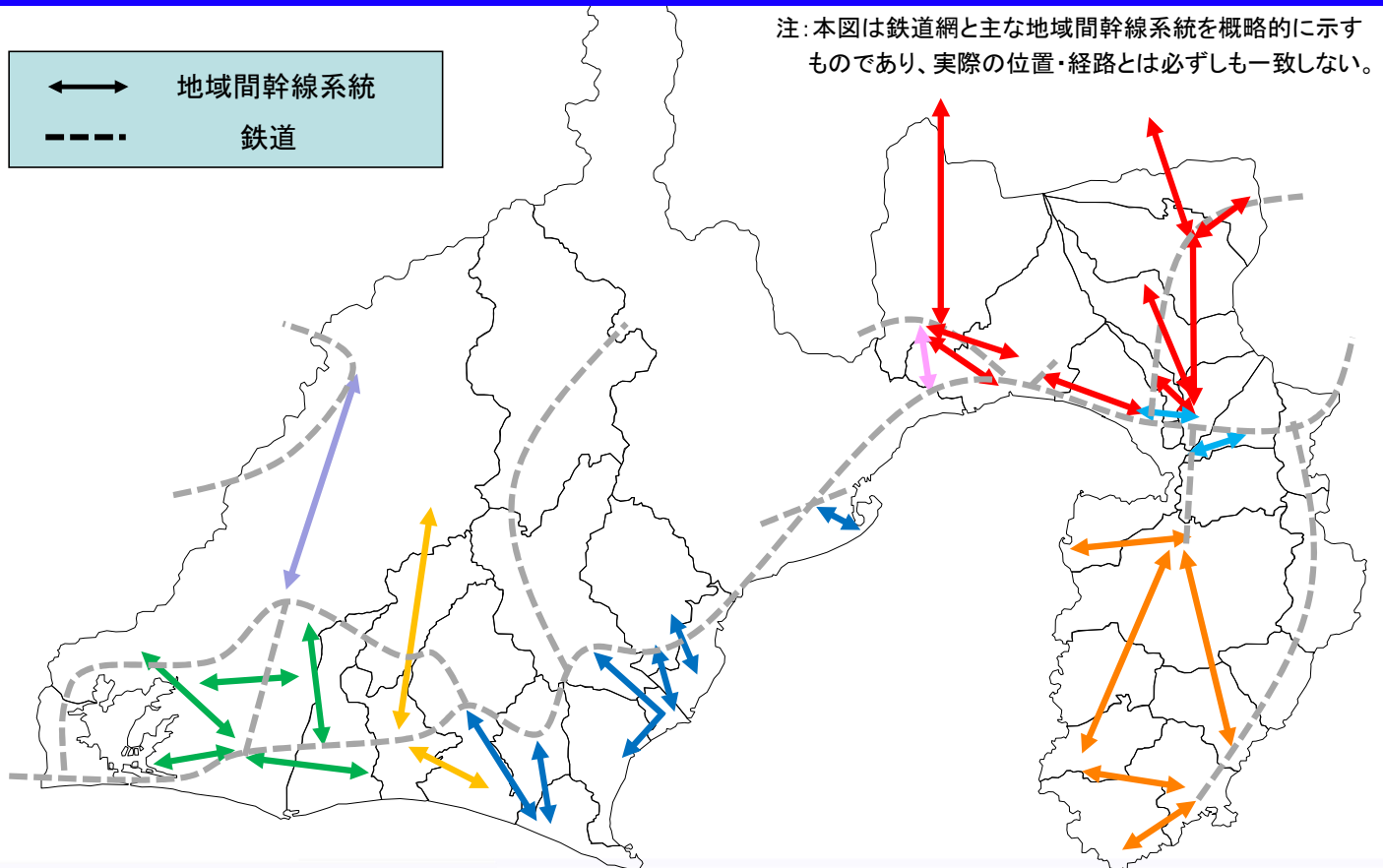
地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



富国有徳の理想郷 - しずおか
 ふじのくに

県内の地域間幹線系統(概略図)



地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考) 事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては静岡県生活交通確保対策協議会を指す。

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

4

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

66

5

	A評価	B評価	C評価	系統数
山梨交通	0	1	0	1
秋葉バスサービス	4	0	0	4
遠州鉄道	8	12	2	22
しずてつジャストライン	3	8	0	11
富士急モビリティ	3	1	0	4
富士急バス	1	1	0	2
富士急静岡バス	4	0	0	4
富士急シティバス	3	4	0	7
伊豆箱根バス	2	1	0	3
東海バス	2	4	0	6
水窪タクシー	0	1	0	1
合計	30	33	2	65

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

6

評価結果内訳(昨年度との比較)

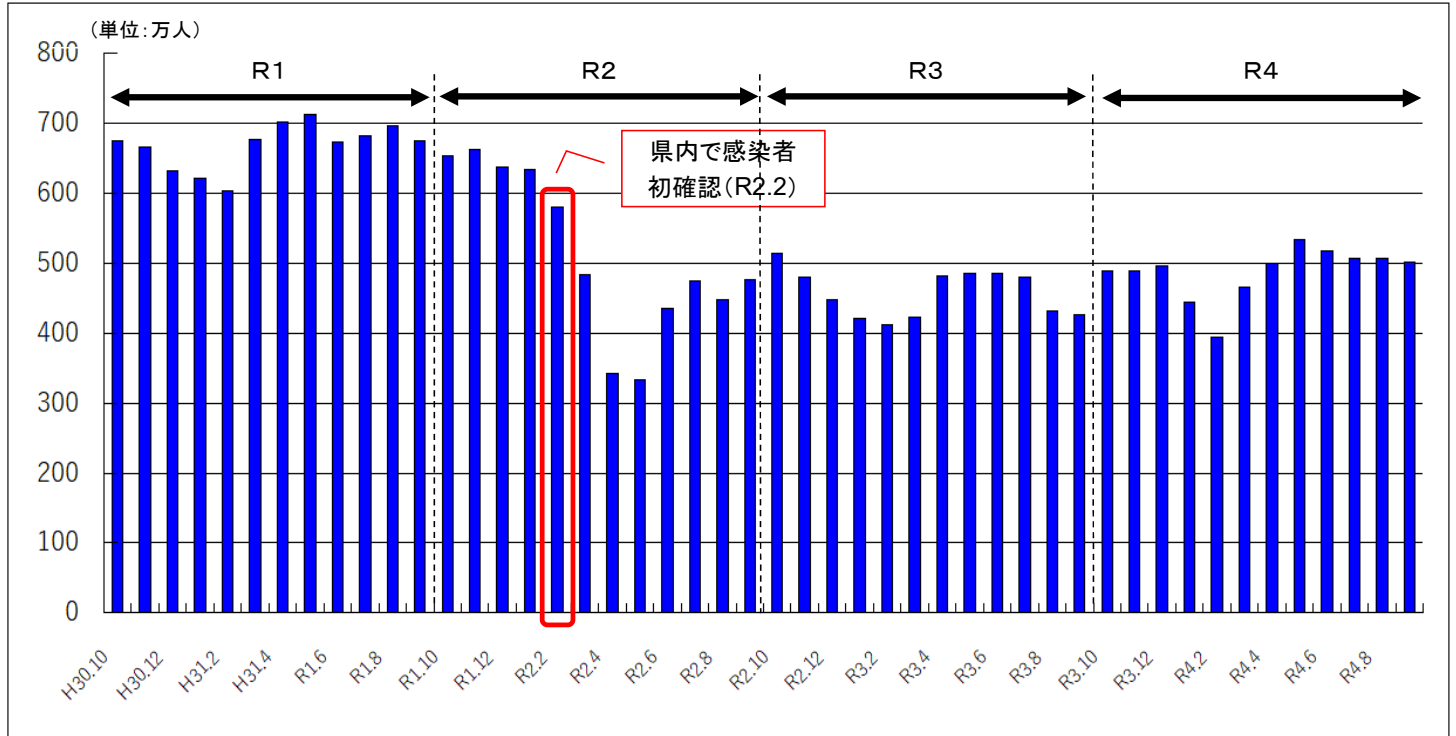
昨年度に比べ、14系統の評価が向上（平均点は5.2点増加）

事業者名	系統名	R3	R4	比較	事業者名	系統名	R3	R4	比較	事業者名	系統名	R3	R4	比較		
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、長山台～護国病院	B	B	—	23	奥山線	B	A	○	45	富士急	曾比奈線	A	A	—
2	秋葉バスサービス	秋葉線	B	A	○	24	志都呂宇布見線	B	B	—	46	静岡バス	大淵線	A	A	—
3		秋葉中遠線	A	A	—	25	志都呂宇布見線	B	B	—	47	大月線	A	A	—	
4		秋葉中遠線	B	A	○	26	浜名線	B	B	—	48	大月線	A	A	—	
5		秋葉中遠線	A	A	—	27	掛塚さなる台線	B	A	○	49	富士急	駿河平線	A	A	—
6	遠州鉄道	大久保線	C	C	—	28	三保草薙線	B	B	—	50	須山線	A	A	—	
7		伊佐見線	C	B	○	29	五十海大住線	B	B	—	51	須山線	A	B	△	
8		浜北医大三方原聖隷線	B	B	—	30	焼津岡部線	B	B	—	52	シテイバス	原線	B	B	—
9		伊平線	A	A	—	31	藤枝吉永線	A	A	—	53	桜堤線	A	B	△	
10		磐田市立病院福田線	B	B	—	32	島田静波線	B	B	—	54	がんセンター線	—	B	△	
11		中ノ町磐田線	B	B	—	33	しずてつジャストライン	島田静波線	B	A	○	55	がんセンター線	—	A	△
12		秋葉線	B	C	△	34	藤枝相良線	B	B	—	56	伊豆箱根バス	大場函南線	B	B	—
13		磐田天竜線	B	B	—	35	菊川浜岡線	B	B	—	57	沼津大岡三島線	—	A	△	
14		磐田天竜線	B	B	—	36	掛川大東浜岡線	B	B	—	58	長岡伊豆三津シーパラダイス線	—	A	△	
15		掛塚さなる台線	B	A	○	37	掛川大東浜岡線	B	A	○	59	東海バス	石廊崎線	B	B	—
16	内野台線	B	A	○	38	掛川大東浜岡線	B	B	—	60	天城峠線	B	B	—		
17	内野台線	B	B	—	39	御殿場線	B	A	○	61	戸田線	B	B	—		
18	磐田市立病院福田線	B	B	—	40	富士急	駿河小山線	B	A	○	62	西海岸線	—	B	△	
19	引佐線	A	A	—	41	モビリティ	十里木線	B	B	—	63	パサラ峠線	—	A	△	
20	萩丘都田線	B	A	○	42	河口湖線	B	A	○	64	パサラ峠線	—	A	△		
21	大塚ひとみヶ丘線	B	B	—	43	富士急バス	河口湖線	B	A	○	65	水窪タクシー	北遠本線	B	B	—
22	気賀三ヶ日線	A	A	—	44	新富士線	B	B	—							

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

新型コロナウイルスの影響

県内の乗合バス利用者数の推移（H30.10～R4.9）



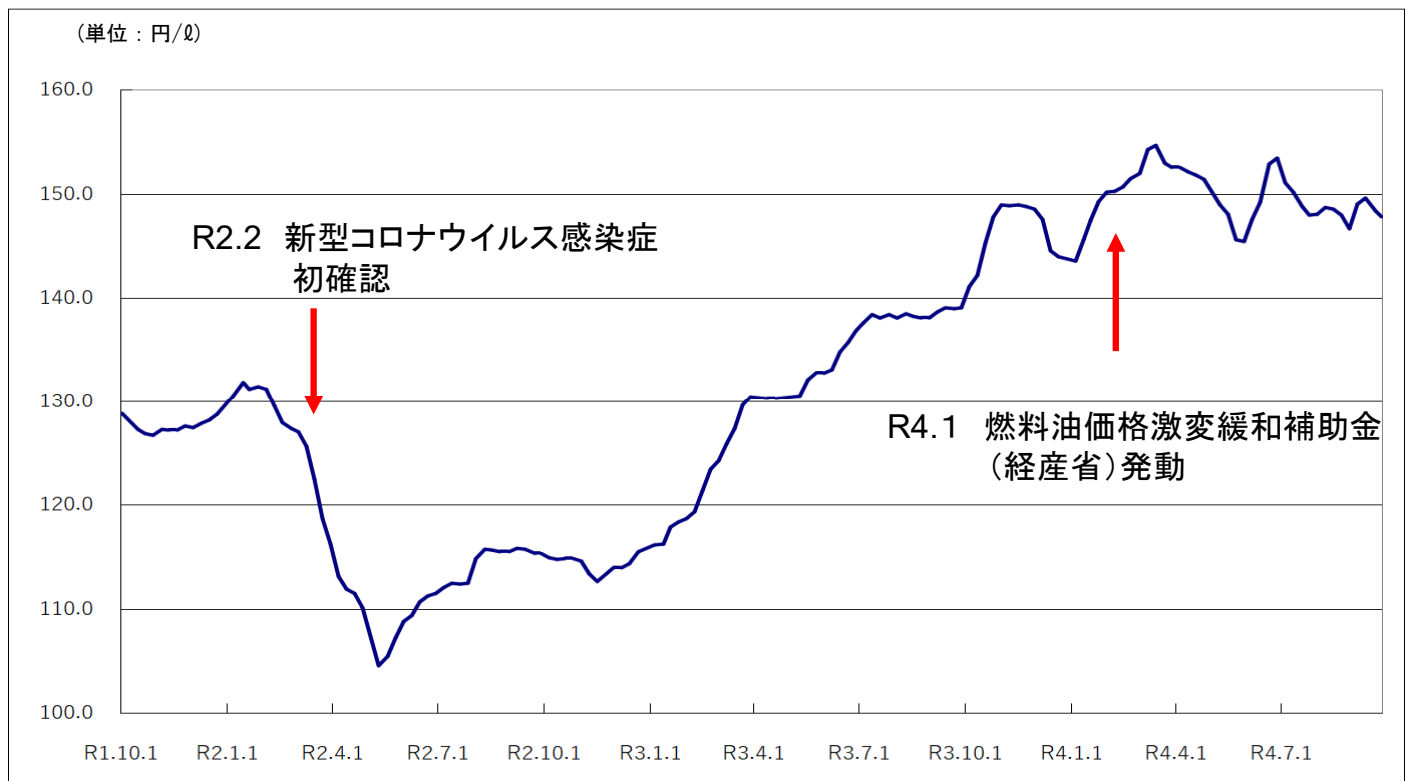
(静岡県地域交通課調査)

富国有徳の理想郷 - しずおか
ふじのくに

8

燃料価格など物価高騰の影響

県内の軽油小売価格の推移（R1.10～R4.9）



(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

富国有徳の理想郷 - しずおか
ふじのくに

68

9

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・車両搭載燃料抑制による燃料使用量削減 ・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費抑制
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入 ・キャッシュレス決済機器の導入 ・市町と連携したバスの乗り方教室の実施
コロナ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・車内の消毒、走行中の換気 ・車内抗菌処理 ・感染防止対策品の配布

県内自治体による支援の例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用券の配布 ・バスロケーションシステム導入費用の補助 ・キャッシュレス決済機器導入費用の補助
コロナ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止の衛生対策（車内消毒等） ・感染防止対策品の配布 ・車内の密を防ぐ運行に対する費用の補助
物価高騰対策	<ul style="list-style-type: none"> ・車両維持費への補助 ・燃料費高騰分の補助

令和4年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県生活交通確保対策協議会が定めた静岡県地域間幹線系統確保維持計画に位置づけられた補助対象系統について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

項目		内容
前提事項 (点数無)	主な運行目的	利用実態等を含めた当該系統の運行目的
	増収策	路線維持のための増収策
	費用削減策	路線維持のための費用削減策
評価事項	運行回数	計画運行回数に対する実績運行回数を評価(3点満点)
	収支率	実績値を評価(収支率55%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
	ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能な拠点数を評価(上限20点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(20%以上満点)
	キロ当たり経費	国上限単価と事業者単価を比較(国単価比-20%超満点)
	拠点等アクセス状況	バス停から半径500m以内の拠点施設を記載(評価点無)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (52~79点)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (26~51点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (0~25点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R2：B、R3：B）

- ・ 評価対象系統全65系統中、A評価：30系統、B評価：33系統、C評価：2系統
- ・ 平均点数が49.0点（R3比+5.2点）であることから、全体評価を『B』とした。
- ・ 各系統の評価結果は別添「令和4年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和4年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	評価項目										事業者 平均	全体評価
		① 運行回数 満点3点	② 収支率 満点18点	③ 乗車人員 満点6点	④ ネットワーク 満点20点	⑤ 広域トリップ 満点20点	⑥ キロ当たり経費 満点12点	点数 (A:50~79) (B:20~51) (C:~25)	A	B	C		
山梨交通	1 富士急駅・イオン・墨山台・清原病院線	3	3	6	6	20	6	44	○		1	44.0	B
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～須多)	3	0	6	11	20	12	52	○		4	54.0	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井駅前～遠州森町)	3	12	3	11	15	12	56	○				
	4 秋葉中遠線(大東支所～袋井駅前)	3	12	3	6	20	12	56	○				
	5 秋葉中遠線(穂須賀車庫～袋井駅前)	3	12	0	5	20	12	52	○				
	6 大久保線	0	6	0	12	0	3	21		○			
遠州鉄道	7 伊佐尾線	3	9	0	14	0	3	29	○				
	8 浜北區大三方原線	3	6	0	17	20	3	49	○				
	9 伊平線	3	18	0	20	20	3	61	○				
	10 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～豊浜郵便局)	3	12	0	7	20	3	46	○				
	11 中ノ町磐田線	0	18	6	9	10	3	45	○				
	12 秋葉線	0	15	0	7	15	3	25	○				
しずけつジャストライン	13 磐田天竜線(山重～磐田駅)	0	15	0	8	20	3	43	○				
	14 磐田天竜線(らぼーと経由)	0	12	0	8	20	3	43	○				
	15 掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	0	18	6	9	20	3	56	○				
	16 内野台線(内野台車庫)	0	18	6	10	20	3	57	○				
	17 内野台線(ザンストリート浜北)	3	15	0	10	20	3	51	○		22	45.4	
	18 磐田市立病院福田線(磐田駅前～豊浜郵便局)	0	6	0	5	20	3	34	○				
	19 引佐線	0	18	0	20	20	3	61	○				
	20 萩丘都田線	3	18	3	10	15	3	52	○				
	21 大塚ひとみヶ丘線	0	18	0	13	0	3	34	○				
	22 筑賀三ヶ日線	0	18	3	15	20	3	59	○				
	23 奥山線	3	18	0	14	20	3	58	○				
	24 志都呂宇布見線(浜松駅～山崎)	0	18	3	7	15	3	46	○				
	25 志都呂宇布見線(浜松駅～舞阪駅)	0	18	3	8	5	3	37	○				
	26 浜名線	0	18	3	8	8	3	32	○				
	27 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚)	3	12	6	8	20	3	58	○				
	28 三原豊線	3	12	6	5	5	3	34	○				
	29 五十海大住線	3	12	3	7	20	3	48	○				
	30 勝津岡部線	0	9	0	5	20	3	37	○				
31 藤枝吉永線	3	18	6	8	20	3	58	○					
32 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	3	9	0	9	20	3	44	○		11	47.4		
33 島田静波線(島田市民病院～静波海岸入口)	3	12	6	13	20	3	57	○					
34 藤枝相良線	3	6	6	12	20	3	50	○					
35 菊川浜岡線	3	12	6	4	20	3	42	○					
36 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	3	18	6	6	20	3	59	○					
37 掛川大東浜岡線(中草津総合医療センター～浜岡営業所)	3	18	6	9	20	3	45	○					
38 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	3	12	6	4	20	3	48	○					
39 掛塚線	3	9	6	15	20	0	53	○					
40 駿河小山線	3	15	3	11	20	0	52	○		4	52.0		
41 十里木線	3	6	6	7	20	0	42	○					
42 河口湖線	3	18	3	17	20	0	61	○					
43 河口湖線	3	15	0	17	20	0	55	○					
44 新富士線	3	3	6	17	20	0	49	○		2	52.0		
45 豊比奈線	3	18	6	8	20	6	61	○					
46 大淵線	3	18	6	10	20	6	63	○		4	63.0		
47 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	3	18	6	10	20	6	63	○					
48 大月線(新富士駅～静岡富士山世界遺産センター)	3	18	6	12	20	6	65	○					
49 駿河平線	0	18	6	11	20	0	55	○					
50 須山線(三島駅～須山)	3	12	6	12	20	0	53	○					
51 須山線(三島駅～下和田)	3	6	0	11	20	0	40	○		7	48.5		
52 原線	0	18	6	10	5	0	39	○					
53 桜堤線	0	18	6	7	20	0	51	○					
54 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	3	3	18	6	20	0	47	○					
55 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	3	18	6	8	20	0	55	○					
56 大場函南線	3	3	0	7	20	6	39	○					
57 沼津大岡三島線	3	18	6	11	20	6	64	○		3	54.3		
58 長岡伊豆三津シーパラダイス線	3	18	6	7	20	6	60	○					
59 石廊崎線	3	3	0	7	20	3	36	○					
60 天城峠線	3	6	0	15	20	3	47	○					
61 戸田線	3	15	0	7	20	3	48	○					
62 西海線	3	9	0	11	20	3	48	○		6	49.5		
63 ハサハラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	3	12	6	13	20	3	57	○					
64 ハサハラ峠線(下田駅～宇久須)	3	18	6	13	20	3	63	○					
65 北選本線	0	0	6	6	13	5	36	○		1	36.0		
計							49.0	30	33	2	65		

[全体評価の理由]
・全65系統中33系統がB評価である。
・平均評価点数が49.0点である。

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名 富士急モビリティ株式会社
 系統名(起点～経由地～終点) 御殿場線 御殿場駅～裾野駅～三島駅
 計画策定年度 令和3年度 運行期間 R3.10.1～R4.9.30 評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(1825)回 (5 回/日)	(1825)回 (5 回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	32.0%	42.9%	9	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	計画値: R3実績 自社経費
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	43,539人	48,201人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	計画値: R3実績
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(3)箇所 バス停(9)箇所	15	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	45.90%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	施設名称 【駅】 三島駅・岩波駅、南御殿場駅、御殿場駅 【官公庁】 富士岡支所、深良支所、静岡県御殿場合同庁舎、裾野市福祉保健会館、三島市民文化会館、裾野市役所、裾野市民文化センター 【病院】 御殿場かいせい病院、大橋医院、復生病院 【観光施設】 楽寿園、時の栖 【企業学校】 三島長陵高校、順天堂大学保健看護学部、日大三島、三島北高校、富士岡小学校、三菱アルミカ、岡村製作所、矢崎		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	422.09円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				53	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
 B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
 C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	JR御殿場線と並行し、御殿場・裾野・三島の主要駅を繋ぐ地域間幹線である。 沿線には学校・病院・企業が多く存しているため、通学・通院・通勤を中心とする市間を跨ぐ生活移動を補完することを目的に運行。 また、静岡県外を結ぶビジネス移動や観光移動の交通結節点である新幹線三島駅、JR御殿場駅から県内への二次交通として、広域移動の円滑化及び地域内の活性化を図ることを目的とし運行。
増収策	<p>ア. 割引(セット券)の販売及び季節路線の運行</p> <p>①富士山南麓エリア周遊きっぷ、御殿場周遊乗り放題きっぷ、富士登山バス・フリーきっぷを販売し、利用促進を促した。</p> <p>②ハイカー向けに夏季登山バスシーズン前後にハイキングバス(水ヶ塚公園、イ. 地域との連携や自社スケールを活用してのセールス展開</p> <p>①関係自治体と連携してバス時刻表・乗り案内のツールの小山町内全戸配布を実施。また市・町の広報誌やSNSで情報を配信を依頼し、様々な媒体を通じて、公共交通の利用を呼びかけた。</p> <p>②利用のきっかけづくりのため、小学生を中心にバス乗り方教室を実施(12校)。</p> <p>③小学校長期休暇中(12/25~1/10、3/19~4/3、7/23~8/21)において、運賃100円CPを実施し、利用促進を図った。</p> <p>④市町の公共交通担当者から直接学校等に公共交通の利用促進の呼びかけを実施いただき、学校行事での路線バス利用を獲得した。</p> <p>ウ. 利用者に配慮した取り組み</p> <p>①車内ドライブレコーダー活用した接遇・事故の振返りを実施。</p> <p>②車内換気やマスク着用の呼びかけを継続し安全性を発信。また、コマメな消毒と定期的な抗菌触媒を実施し、感染症対策を徹底した。</p> <p>③バスロケーションシステムを導入し、混雑状況や遅延状況をリアルタイムに配信。</p> <p>④GTFSデータを複数のコンテンツプロバイダーへ提供し、様々なサイトで乗換検索を可能にした。</p> <p>エ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動</p> <p>①国立中央青少年交流の家イベント(バスフェス)に参加し、バス利用へのきっかけづくりを行った。</p> <p>②静岡県内のグループバス会社と協力した乗り放題切符の造成。</p> <p>③SNSを活用した運行情報の発信。</p>
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ 実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施。</p> <p>イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、指導運転士街頭指導による注意喚起により、費用削減を図った。</p> <p>ウ. ドライブレコーダ(H25年度内で全車搭載済み)を活用し、事故防止に役立てることで事故による修理費等の削減を図った。</p> <p>エ. 効率的な運行を実施し、無駄な走行を減らすことで経費削減を図った。</p> <p>オ. 外国人旅行客の減少により、HP翻訳サービスの停止及び、翻訳機のリース解約を実施し、不要経費の削減を実施</p> <p>カ. 駅前窓口の営業時間の短縮を実施し、人件費の削減を行った。短縮した分については券売機を窓口時間外に稼働させることで利便を損ねないように配慮した。</p>

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線 JR岩波駅・・・JR御殿場線 JR御殿場駅・・・JR御殿場線</p> <p>【バス停】 東レ入口・・・光が丘団地方面 萩芙蓉台・・・芙蓉台及び見晴台方面 三菱前・・・桜堤経由三島駅方面 裾野駅入口・・・JR裾野駅 佐野・・・御殿場方面 裾野市民文化センター・・・すその一 復生病院前・・・御殿場特別支援学校方面 かまど中・・・JR南御殿場駅 森の腰・・・御殿場市内系統</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>日本大学、日本大学三島高校、三島北小中学校、徳倉小学校、裾野市役所、裾野西小学校、大橋病院、裾野市営プール、裾野市民文化センター、神山小学校、神山復生病院、富士岡中学校、富士岡小学校、静岡県御殿場総合庁舎</p> <p>【拠点施設】 三菱アルミニウム、矢崎部品、トヨタ自動車東日本、ベルシティ(ショッピングセンター) 時の栖、岡村製作所</p>

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急シティバス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

駿河平線

三島駅～下土狩駅・がんセンター～駿河平

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.9.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	2911.5回 (7.9回/日)	2906.5回 (7.9回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	・計画(目標)は表2記載数値 ・年末年始減便実施のため
収支率	計画値に対する実績値	69.7%	73.3%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	69,595人	73,705人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(4)箇所 バス停(3)箇所	11	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	45%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	別紙のとおり		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	439.70円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				55	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	駿河平周辺及び路線沿線住民の朝・夕は通勤、通学需要、またはJR線からの県立がんセンター及びクレマチスの丘等文化芸術関連施設等へのアクセスを目的とする。 主に、駿河平北部に居住する小学生の同地区南部にある長泉北小学校への通学、同地区高齢者等(交通弱者)のJR下土狩駅、三島駅、伊豆箱根鉄道広小路駅への結節による通院・買い物、加えて同地区に存在する県立がんセンターへの通院、お見舞い客等の輸送が目的であります。併せて同地区に所在するクレマチスの丘等美術館への来訪客の輸送も目的とする。
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) 小学生の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別運賃導入を導入し、利用促進を図った。 5) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線 JR下土狩駅・・・JR御殿場線 JR長泉なめり駅・・・JR御殿場線 広小路駅・・・伊豆箱根鉄道 【バス停】 三島本町・・・東海バス・伊豆箱根バス 長泉役場・・・清水長泉循環 下長窪・・・北小林、JR沼津駅方面
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】 長泉北小学校、JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園(ウエルピア長泉)、静岡県立がんセンター、三島市民会館、長泉町文化会館、長泉小学校、長泉中学校 【拠点施設】 ウエルディ長泉(ショッピングセンター) クレマチスの丘、ビュフェ美術館等の文化施設 スルガ銀行 ベックマン・コールター、ファルマーバレーセンター(大手事業所)

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急シティバス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

須山線

三島駅～御宿～須山

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.9.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	B	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	2671.5回 (7.3回/日)	2671.5回 (7.3回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	・計画(目標)は表2記載数値
収支率	計画値に対する実績値	50.0%	46.1%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	65,016人	95,582人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(8)箇所	12	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	38%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	別紙のとおり		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	439.70円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				53	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	裾野市北部に位置する須山地区からの通勤及び通学需要や鉄道、JR等の他の公共交通機関への接続、又、沿線の高齢者層を中心とした通院、買い物需要を目的とする。 又、三島市北部地域からJR三島駅や他の公共交通機関に接続する通勤、通学を中心とする公共交通ネットワークを形成している。
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジオルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) 小学生の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別運賃導入を導入し、利用促進を図った。 5) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線、伊豆箱根鉄道 JR裾野駅・・・JR御殿場線 【バス停】 東レ入口・・・光が丘団地方面 三菱前・・・桜堤経由三島駅方面 御宿・・・すその一 今里・・・岩波循環線 菟芙蓉台・・・芙蓉台及び見晴台方面 佐野・・・御殿場方面 東名裾野・・・東名ハイウェイバス 須山・・・十里木及び御殿場方面
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】 日本大学、日本大学三島高校、三島北小中学校、徳倉小学校、裾野市役所、裾野西小学校、富岡第一小学校、富岡中学校、富岡支所、富岡第二小学校、須山小学校、須山中学校、須山支所、須山地区研修センター、大橋医院、裾野警察署 【拠点施設】 ベルシティ(ショッピングセンター) 帝人アカデミー富士(宿泊研修施設)

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急シティバス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

須山線

三島駅～御宿～下和田・帝人アカデミー

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.3.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	C	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	664.0回 (1.8回/日)	664.0回 (1.8回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	・計画(目標)は表2記載数値
収支率	計画値に対する実績値	52.8%	39.5%	6	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	44,290人	20,071人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	R3.10.1～R4.3.30(182日間)運行
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(7)箇所	11	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	38%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	別紙のとおり		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	439.70円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				40	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	裾野市北部に位置する下和田地区に分譲された呼子団地等からの通勤及び通学需要や鉄道、JR等の他の公共交通機関への接続、又、沿線の高齢者層を中心とした通院、買い物需要を目的とする。 又、三島市北部地域からJR三島駅や他の公共交通機関に接続する通勤、通学を中心とする公共交通ネットワークを形成している。
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジオルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) 小学生の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別運賃導入を導入し、利用促進を図った。 5) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線、伊豆箱根鉄道 JR裾野駅・・・JR御殿場線 【バス停】 東レ入口・・・光が丘団地方面 三菱前・・・桜堤経由三島駅方面 御宿・・・すその一 今里・・・岩波循環線 菟芙蓉台・・・芙蓉台及び見晴台方面 佐野・・・御殿場方面 東名裾野・・・東名ハイウェイバス
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】 日本大学、日本大学三島高校、三島北小中学校、徳倉小学校、裾野市役所、裾野西小学校、富岡第一小学校、富岡中学校、富岡支所、富岡第二小学校、大橋医院、裾野警察署 【拠点施設】 ベルシティ(ショッピングセンター) 帝人アカデミー富士(宿泊研修施設)

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急シティバス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

がんセンター線

三島駅～長泉なめり駅～がんセンター

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.9.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	B	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	4479.5回 (12.2回/日)	4482.0回 (12.2回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	・計画(目標)は表2記載数値
収支率	計画値に対する実績値	80.2%	83.0%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	47,778人	62,624人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(3)箇所 バス停(2)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	79%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	別紙のとおり		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	439.70円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				55	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項目	内容
主な運行目的	沿線から鉄道駅や中心市街地への通勤・買い物・通学需要等を目的としており、三島駅、三島駅北口および裾野駅で他の交通機関に接続するネットワークを形成する。 桜堤地区(長泉長)、伊豆島田地区(裾野市)からの通勤や買い物の需要、沼津高専寮生の沼津駅への交通手段、沿線高校への通学手段としての利用がある。 この路線の運行により、交通空白地帯の解消を図っている。
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジオルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) 小学生の長期休暇(春休み、夏休み、冬休み)に合わせた特別運賃導入を導入し、利用促進を図った。 5) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 6) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

(2) 各項目の評価

項目	内容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 JR三島駅・・・JR東海道線、東海道新幹線 JR下土狩駅・・・JR御殿場線 JR長泉なめり駅・・・JR御殿場線 【バス停】 長泉役場・・・清水長泉循環 下長窪・・・北小林、JR沼津駅方面
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】 長泉北小学校、JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園(ウエルピア長泉)、静岡県立がんセンター、三島市民会館、長泉町文化会館、長泉小学校、長泉中学校 【拠点施設】 ウエルディ長泉(ショッピングセンター) ベックマン・コールター、ファルマーバレーセンター(大手事業所)

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

伊豆箱根バス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

大場函南線

大場駅～八ツ溝～函南駅

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.9.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	-	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	-	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	-	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(3,892) 回 (10.6回/日)	(3,896) 回 (10.6回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外 運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	44.77%	34.73%	3	29%以下 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 5%超 6点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	21,457人	18,440人	0	▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	-	拠点(2) 箇所 バス停(3) 箇所	7	拠点(駅・BT): 1箇所 2点 乗換可能なバス停: 1箇所 1点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町) (運行実績による)	-	52.00%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可) 拠点商業施設・企業	-	施設名称		-	別紙
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)	-	386.00円	6	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点	413.6
合計				39	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	<p>三島市の伊豆箱根鉄道大場駅とJR函南駅を結ぶ鉄道駅同士が起終点となる路線。</p> <p>交通結節点である、大場駅・函南駅から、沿線にあるご自宅や各施設までの利用が主体の生活路線として運行しており、通勤・通学の他、日常の通院にも利用されている。また、一部の沿線のバス停から函南町の熱函道路沿いにある大型商業施設へ徒歩での移動も可能であり、買い物にも利用されている。</p>
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通系ICカードの対応エリア拡大によるキャッシュレス化の推進。 ・ SNSを活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信し、利用機会の創出を促す。 ・ バスロケーションシステムの活用をPRすることで、バスの利用促進に努める。
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施。 ・ アイドリングストップ強化。 ・ 有償・無償に係わらず事故の削減強化。 ・ コロナ需要にあわせた運行本数の調整。 ・ 雇用調整助成金の特例処置に伴う乗務員の休業取得。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>大場駅・JR函南駅・八ツ溝・大竹口・上沢口</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>函南町文化センター・函南町立図書館・函南町ふれあいセンター・函南中学校・井出歯科医院・宇野眼科・函南耳鼻咽喉科・整形外科函南クリニック・上沢公民館</p>

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

伊豆箱根バス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

沼津大岡三島線

沼津駅～市立高校前・上石田～三島駅

計画策定年度 令和3年度

運行期間 R3.10.1～R4.9.30

評価年度 令和4年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	-	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	-	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	-	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(8,251) 回 (22.6回/日)	(8,258) 回 (22.6回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	87.07%	94.46%	18	30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 5%超 6点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	197,914人	230,770人	6	▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	-	拠点(4)箇所 バス停(3)箇所	11	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町) (運行実績による)	-	60.50%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可) 拠点商業施設・企業	-	施設名称		-	別紙
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)	-	386.00円	6	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 点	413.6
合計				64	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	J R 沼津駅～三島駅間を結び、沼津市・長泉町・三島市に跨がって運行しております。沿線には、高校・工場・病院等が点在しており、沿線住民の移動手段としての利用の他、沼津駅・大岡駅・三島広小路駅・三島駅からバスに乗り換え、沿線施設へ通勤・通学・通院される他地域からの方々の移動手段としても利用されております。
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通系 IC カードの対応エリア拡大によるキャッシュレス化の推進。 ・ SNS を活用して運行状況や、沿線情報等のお知らせの配信し、利用機会の創出を促す。 ・ パスロケーションシステムの活用をPRすることで、バスの利用促進に努める。
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕業数の見直しによる人件費の削減を実施。 ・ アイドリングストップ強化。 ・ 有償・無償に係わらず事故の削減強化。 ・ コロナ需要にあわせた運行本数の調整。 ・ 雇用調整助成金の特例処置に伴う乗務員の休業取得。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【駅】 J R 沼津駅・ J R 大岡駅・ 三島広小路駅・ J R 三島駅</p> <p>【バス停留所】 加藤学園入口・大岡駅前・本町</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>沼津中央高校・沼津市立高校・加藤学園高校・加藤学園初等学校・大岡中学校・知徳高校・西島病院・池田病院・プラザヴェルデ・沼津商工会議所・サンウェル沼津・三島市民文化会館・三島商工会議所</p>

市町名

三島市

系統名	取組内容
御殿場線 (御殿場駅～裾野 駅～三島駅)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用 ・御殿場市・裾野市との協調補助による路線の維持
駿河平線 (三島駅～下土狩 駅・がんセンター ～駿河平)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用
須山線 (三島駅～御宿～ 須山、三島駅～御 宿～下和田・帝人 アカデミー)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用
がんセンター線 (三島駅～長泉なめ り駅～がんセン ター)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用
大場函南線 (大場駅～八ツ溝～ 函南駅)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布
沼津大岡三島線 (沼津駅～市立高校 前・上石田～三島 駅)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者へのバス等助成券の交付（3,000円、対象者へ郵送） ・運転免許証自主返納者へのバス等助成券の配布（10,000円） ・公共施設での時刻表の配架 ・公共交通マップの配布 ・三島駅南口でのデジタルサイネージの運用

(*)当該系統に対するMMなど利用促進に関する取組や金銭的負担等について具体的に記載